

●東日本大震災から8年を迎える。東北3県（岩手、宮城、福島）では未曾有の大災害を語り継ぐため「震災遺構」として様々な取り組みが進められている。しかし今なお5万人以上が避難している現実もある。私たちは身近にいる避難者の方々のことを知り、同じ市民として接していくと同時に、避難されている方々が孤立することのないよう、これからもつながりの糸を丁寧に紡いでいきたい。

東日本大震災被災者と支援者交流会（3/9）

第16回「元気か〜い」弥生の集い 終了報告



←東日本大震災3.11から8年を迎える3月9日に開かれた「元気か〜い」には14名が参加。Kさんのギターで皆で歌った…中島みゆきの時代に胸ジーン。



←一時がたつのも忘れて近況報告からおしゃべりタイムへ。いつものことながら、話題に事欠くことはありません。豊かな会話力と好奇心に脱帽！（笑）。



←2011年から8年間の生活企画ジェフリー所蔵写真をDVDにまとめ、皆様と一緒に思い出を語りあいました。感慨深い場面がいっぱいありました。



←Sさんは前日に購入した真新しいギターで美しい音色を響かせてくれました。元気に、松任谷由美の春よ、来いも唄いました。

田無駅北口前 平和のアーチ近くで

3.11 追悼キャンドル



今年も、東日本大震災の犠牲者の方々の偲び田無駅前3.11追悼キャンドルにたくさんの方が灯をともしました。

主催:市民ネット西東京。協力:おとばミディ有志

もっと知ろうよSDGs（3/30）

●歴史上、貧困に対して最も効果を取めた世界的取り組み「MDGs(ミレニアル開発目標)」から引き継がれ2015年に生まれたアジェンダがSDGs(エスディーエーグ:持続可能な開発目標)です。●国連本部で日本を含む193加盟国の合意のもと採択された「世界を変革するための17の目標」。①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう等17項目。解説の後のワークシートの書き込みと話し合いで会場は一気に熱を帯び活発になっていった。講師のリードよろしく楽しくも当事者意識が醸成された、主催:西東京市協働推進センターゆめこらぼ



写真: インターネットより

講師小松豊明さんは、認定NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会理事・事務局長。シャプラニールとはバングラディッシュ・ベンガル語で睡蓮の家という意味。1972年設立の功績・実績あるNGO団体。

女性議員を増やす法律「候補者男女均等法」の効果は…世界193か国中165位の日本

- 3月8日は「国際女性デー」。多くの苦難を乗り越え権利を勝ち取ってきた女性をたたえる日。国連が1975年制定
- 日本では、昨年(2018年)5月に施行された候補者男女均等法で、国と地方の議員選挙で男女の候補者数をできる限り均等にしよう政党に努力を求めている。その背景には衆議院の女性比率が10.1%、女性閣僚が1人のみという状況がある。2019年3月各国議会の女性進出に関する調査では193か国中日本は165位G20最低なのだ。
- 上智大学三浦まり教授は、「女性の少ない分野には何らかの壁がある。業界ごとに壁を壊していくのが大事」。その上で、「男女同数が必要だと思う人をもっと増やすこと」という(朝日新聞)2019年1月21日より抜粋)。候補者均等法施行後初めての統一地方選挙。女性の候補者が増えることで政界が変わり、男女の偏りのない社会の実現に期待する。